Vol. 5
題字 大谷妙子会長
2014年7月1日
真宗大谷派 大谷婦人会通信

すみれ

二〇一三年度 全国支部長・役員研修会 開催

去る4月14日15日と2日間にわたり、宗史蹟である岡崎別院を会場に、「2013年度　全国支部長・役員研修会」が開催されました。

講師に、日豊教区徳蓮寺前住職、伊藤元先生にご出講いただき、「渡されたもの　手渡すもの」と題しご法話をいただきました。私たちの日頃の心模様を巧妙に言い当てられ、ドキッとするやら、人様の事のようにお腹を抱えて笑うやら、例えられる事が一つひとつ頷かされたことでした。聞法するとは出遇う場、出会い直す場とおさえられ、夫婦、親子など親しい間柄でも、長い間にお互いに無関心になりがちですが、「聞法を通して出会い直す事が何よりも大切な事」とお話しくださいました。

座談会では、参加者一人ひとり先生のお話を中心に緩やかに進められ、確認し深められた一時でした。現代社会に、またそれぞれの家庭で子や孫にお念仏を伝えること、お内仏を相続していくことの難しさが語り合われ、まず、私たちが聞法する場に身を運ぶこと、お念仏の声を届けつづけることが、今を生きる私たちの使命であると語り合われました。まさに座談は聞法力であると感じたことでした。

2日目は、大阪の難波別院に参詣させていただき、新生相成った難波別院支部の皆様と交流会が持てましたことに参加者一同感動し、一体感の中で深まり行く会員同士のつながりがとても微笑ましいと共に、今後の大谷婦人会の活動拠点としての力強さを感じさせていただいたことです。

（委員長 宮本春美）

EVENT REPORT

北海道連合会　（北日本ブロック・赤松牧子通信員）

春の研修会・秋の研修会 開催

3月4日から6日にかけて、定山渓ビューホテルにて春の研修会を行いました。今回は金沢より春秋賛先生（仙龍寺住職）をお迎えして、「汝、自ら当に知るべし」の講題でご法話をいただきました。

6月20日には、旭川別院の御遠忌法要に併せて北海道連合会と旭川別院との共催で、大谷妙子会長御臨席のもと「婦人のつどい」が開催されました。記念講演は大谷大学の草野顕之師より「親鸞聖人の結婚について」の御講話でした。その後の交流会は、会場をロワジールホテルに移動し、全道からお集まりいただいた方々と和やかなひと時を過ごしました。

能登教区連合会　（北陸北部ブロック・広橋千代子委員）

婦人法話会 開催

4月10日、桜花爛漫。大谷妙子会長のご臨席をいただき、「ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう」のテーマのもと、約700名の会員の参加を得て、それぞれのお念仏者が、ほどよい緊張感に浸るなか開催されました。

いつも温かく心に響く真宗宗歌を斉唱し、お勤めへと続きました。名古屋教区随順寺住職・黒田龍雄先生による「今日一日のいのち」のご法話に、いま生かさせていただく有り難さや人としての生きがいを、日々の生活の中で問い直すことを教えていただきました。

大会を終えた満足感と充実感の両面を、今後の生活の糧としたいものであります。

「教化総合施設」外観イメージ

「教化総合施設」館内イメージ

小松教区連絡協議会　（北陸南部ブロック・山ふみ子委員）

創立二十周年記念大会 開催

春うららの4月26日（土）、大谷妙子会長ご臨席のもと、小松教務所において連絡協議会創立二十周年の記念大会を開催しました。

午前10時より記念法要。勤行の後、会長より温かいご祝辞を頂戴し、来賓からも祝辞をいただきました。続いて歴代会長5名に感謝状授与、そして有功章授与が行われました。

午後は公開講座。講師に京都教区浄念寺住職・藤野宗城師を迎え、「人身受け難し 仏法聞き難し」の講題のもと、なめらかでユーモアのあるお話を聴聞できました。

早朝より閉会まで、400名を超える参詣の会員と、貴重な仏縁をいただくことができました。

北陸地区　（北陸北部ブロック・長島由紀子委員）

第67回北陸地区

聞法会（前期）開催

今年も当聞法会に参加しましたが、参加者の中には、第1回目が開かれた67年前にはまだ生まれていなかった方、子どもであった方が大部分で、長い歴史に、持続することの有り難さ、難しさ、嬉しさを深く感じたことです。

中村薫先生の、金子みすゞの詩を紹介されながらの「いのち」と題したご法話を聴聞しました。あふれんばかりの煩悩の身を生き、忙しいと言い訳をして自分を見つめることをなおざりにしている日々を恥じ入るばかりです。

聞法会に参加したよろこびを一人でも多くの方にお伝えし、今後も多数の方々と聞法することの大切さ、よろこびを分かち合いたく思います。

（西日本ブロック・浅井温子通信員）

2013年度

お内仏報恩講および新年初会 開催

旧大谷婦人会館で毎年開かれていた「お内仏報恩講」が、昨年12月12日、青少幼年センターにて開催されました。地元の京都支部会員を中心に集まった参拝者全員で正信偈・和讃をお勤めし、その後「自力作善のひと」と題し、里雄康意宗務総長（大谷婦人会顧問）よりご法話を聴聞しました。

また今年1月10日には、恒例の新年初会が同センターで開かれました。お勤めの後、大谷妙子会長より清々（すがすが）しい新年のご挨拶を賜り、藤戸秀庸参務（同顧問）のご法話「生活即念仏」を聴聞しました。その後会場を移し、会長・講師と共に昼食をいただき、ビンゴゲームなどを楽しみました。今日以上に会員が増え、参拝くださることを願います。

（副委員長 伊勢順子）

真宗教化センター「教化総合施設」建設工事起工式に参加して

花ふぶきが舞う4月4日、整地された大谷婦人会館・大谷ホールの跡地に立ち、ここでいろいろな行事が行われ全国から会員が集ったことが次々と思いおこされました。建設費には大谷婦人会員のご懇志が含まれております。新たな「聞法一路」の拠点が、来年4月竣工、7月1日開所予定です。里雄康意宗務総長はお話の中で「様々な人の交流の場として、親しみのある施設であることを願う」と言われておりました。

世の中の変動が激しく、家族関係・人間関係をも影響を受けざるを得ないこの頃、今後の婦人会活動も、私たちの背中が見られていることを今一度見直し、生まれた時から手を合わせることを、子や嫁（婿）・孫へとつなげていくことが大切だと思います。

センター内にそんな色々な人が集えるフロアができるのが楽しみです。新しい建物で、会員の皆様と集えることを心待ちにしております。

NEWS［2014年度上半期活動予告］　2014年7月～12月

■ 2014年度 委員会

［日　時］7月24日（木）14時より　［会　場］青少幼年センター 1階仏間

全国の教区（ブロック）の会員より選ばれた26名の委員が集まり、
2014年度の事業計画や予決算等が議決されます。

■ 第67回 東海・近畿地区聞法会

［期　間］第1組 9月3日（水）～4日（木）、第2組 9月4日（木）～5日（金）
［会　場］岐阜グランドホテル　［講　師］小松教区誓立寺住職　林 拡 師
［会　費］12,000円（1泊3食含む）

主に東海・近畿地区の会員が対象ですが、どなた（会員外）でも参加できます。
事務局までお問い合わせください。

■ 2014年度 全国大会

［日　時］10月16日（木）午後1時より4時まで　［会　場］真宗本廟視聴覚ホール
［講　師］金沢教区仙龍寺住職　春秋 賛 師　［会　費］2,000円

交流会

［日　時］10月16日（木）午後5時より8時まで　［会　場］京都国際ホテル（二条城東側）
［会　費］10,000円

毎年1回全国の会員が集まり、全物故会員追弔法要・秋季永代経法要を併修して開催します。

クリアファイル 好評販売中

前号でご案内の真宗大谷派僧侶で日本画家の畠中光享氏の「水」と「安養花」をプリントしたA4サイズ2枚組。価格は1セット500円（税込）。100セット以上ご注文の場合送料無料。

ハンドブック 10月発行予定

友同朋と共に歩みたい、出遇いたい。「聞法一路」をスローガンとして活動する大谷婦人会の願いを全国の皆様へお届けいたします。

編集後記　（篠原）

通信「すみれ」5号をお届けします。

はや2年あまり、私たちは真宗大谷派大谷婦人会として、一歩一歩あゆみを進めてまいりました。今後共に様々な聞法の場に足を運び一期一会の出遇いを大切にして、人とのつながりを深めていきたいと思います。

お見受けのとおり、今号よりデザインを一新し明るく見やすい紙面にいたしました。多くの皆様が手に取ってくださることを願っております。

すみれ　第5号　2014年7月1日発行
発行所：真宗大谷派大谷婦人会
〒600-8168
京都市下京区室町通六条下る八百屋町273番地
TEL：075-371-6181　FAX：075-371-6171